

イノベーションの推進 **BX**

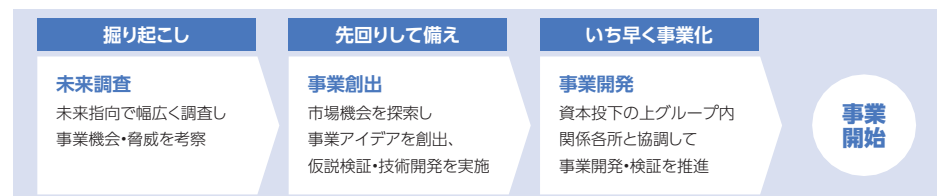
関西電力グループでは、将来の予測が困難（VUCA）な時代、非連続な環境変化への適応を目指して、自律的かつ持続的にイノベーションを創出できる仕組みを整備するとともに、事業創出や業務変革につながるイノベーション活動を積極的に推進しています。

未来志向型のイノベーション活動への深化

中長期の目線で政治・経済・社会・技術（PEST）の幅広い動向から、変化をいち早く捉えて新たな価値の創造につなげるため、2023年7月、イノベーション推進本部を新設するとともに、未来志向型価値創造プロセスの稼働を開始しました。より長い時間軸で幅広い動向を調査し、得られた示唆から投資や実証等のアクションや仮説の磨きこみにつなげる等、イノベーション活動は着実に進化しつつあります。

※ハイパースケールデータセンター事業等の事業化事例はP.53参照

未来志向型価値創造プロセス



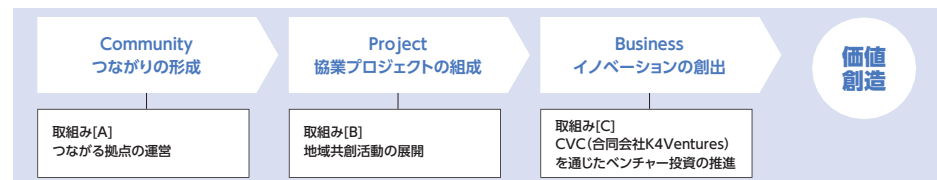
当社グループ全体のイノベーション活動を推進し、この価値創造プロセスを最大限に機能させるための主な取組みは以下の4つです。

オープンイノベーションの推進

オープンイノベーションの推進 **WEB**

当社グループでは、オープンイノベーションによる価値創造の流れを意識しつつ、さまざまな取組みを進めています。

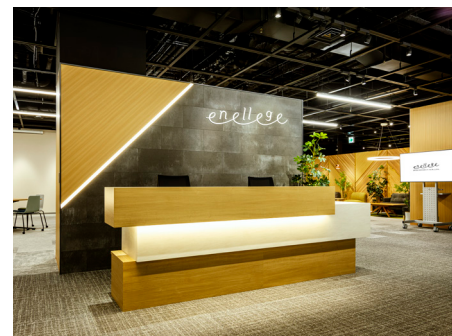
オープンイノベーションによる価値創造の流れと取組み



A. つながる拠点「エナレッジ」の運営

つながる拠点「エナレッジ」の運営 **WEB**

当社は、新たな価値の創造を後押しするオープンイノベーション拠点「エナレッジ」を運営しています。個人や組織等さまざまな枠組みを超えたパートナーの皆さまとの交流や各種活動を展開しており、2024年度は80を超えるイベントを開催、のべ3,000名を超えるみなさまにご参加いただきました。今後もエナレッジを起点に、さまざまな組織・人とのつながりを広げ、強めていきます。



エナレッジ所在地:大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル3階

B. 地域共創活動の展開

当社は、各地域において、さまざまな組織・人と連携しながら事業共創活動を展開しています。例えば、福井県では、県や大学、スタートアップ企業との水産の共同研究協定を締結し、競争力のある魚種の開発を進める等、自治体や地域事業者等と協力し、地域特性を踏まえ、持続可能かつ地域活性に貢献する事業の構築に取り組んでいます。その他、地域が抱える課題について、都市部の企業や域内の関係者と連携し、ビジネスで解決する取組みを進めています。

イノベーションの推進 **BX**

C. ベンチャー投資の推進

ベンチャー投資の推進 [WEB](#)

革新的な技術やビジネスモデルを有するベンチャー企業と連携し、将来的な事業多角化、イノベーション創出につなげるため、合同会社K4 Venturesを投資主体とするベンチャー投資を推進し、2025年6月末までに累計46件の投資を実行しています。2024年度からは投資枠を累計180億円に拡大して、①ゼロカーボン、②DeepTech、③地域共創の3つの重点投資領域を中心に投資先候補を探索し、未来調査への貢献、新たな技術・ビジネスの情報獲得、M&Aを見据えた関係構築等の成果を目指した投資を通じて、新規事業創出をめざします。

次世代エネルギー事業探索の強化

当社は、将来にわたって安定かつ低廉なエネルギーを供給するとともに、ゼロカーボン化を実現するため、産官学連携やスタートアップへの出資等を通じて、国内外を問わず幅広く新しいエネルギー関連技術の探索活動をおこなっています。

具体的には、自然変動電源である再生可能エネルギーが増加する中、エネルギー供給と需要の長時間のギャップを埋める長時間エネルギー貯蔵技術、大気や海水から直接CO₂を回収する二酸化炭素除去技術、さらには夢のエネルギーとも呼ばれているフュージョンエネルギー（核融合）等、エネルギー業界に革新をもたらす可能性のある技術の探索を進めています。また、これらの技術は欧米を中心に萌芽していることから、2025年7月には海外探索の専任職を配置し、探索体制を強化しております。

持続可能な社会の実現に向けて、新たな技術を用いた実証等にも、社外関係者と連携して果敢に挑戦していきます。



プラズマ加熱システム・ジャイロトロン共同研究



国際熱核融合実験炉ITER訪問

イノベーション風土醸成・人財育成

イノベーション風土醸成・人財育成 [WEB](#)

自律的かつ持続的にイノベーションを創出するためには、イノベーション人財を継続的に発掘し、成長を後押しすることを通じて、挑戦する組織風土を醸成することが重要です。これを実現するため、当社グループでは、全社員が参加できるさまざまなプログラムを展開しています。

例えば、当社グループ社員が新規事業アイデアを提案し、審査に合格すると事業化ができる社内起業制度「SPARK」を運営しています。中でも「起業チャレンジ」は、制度開始の1998年から2025年6月末までの間、累計850件を超える挑戦があり、10社を創業、そのうち3社は現在も当社グループの一員として事業を展開しています。



価値創造、事業創出につなげる活動の推進

イノベーションを推進し事業を創出するためには、競争力の源泉となる知的財産権を獲得することとともに、市場の創出・拡大や、自社の強みを訴求すること等に寄与する標準化（ルール形成）も重要です。標準化については、イノベーション推進本部長を標準化活動の責任者とし、各事業部門と連携して事業創出につながるよう感度を高めて活動を進めています。